

あした、輝け!

12月議会 議案の中から 議案第5号 平成23年度鎌ケ谷市 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ約5億8600万円を追加した補正予算が可決。

主な予算の使い道について

○子ども医療費助成金等の追加 約3234万円、
財源の内訳 千葉県の負担額 1617万円
鎌ケ谷市の負担額 1617万円
補正後の合計 2億1522万円

○生活保護費の追加 約1億2622万円、
財源の内訳 国の負担額 9466万円
鎌ケ谷市の負担額 3156万円
補正後の合計 約19億4963万円

○放射線対策関係 約3192万円、
財源の内訳鎌ケ谷市の負担額 約3192万円

○その他の使い道
初富駅前広場整備事業用地購入の追加 約6627万円
栗野地区公園整備用地購入の追加 約2億5890万円
緑道用地購入の追加 1849万円
出土文化財基礎整理作業業務 約483万円
(緊急雇用創出事業 全額県支出金)
市内事業者の受注促進及び公共施設の適正
管理を目的とした簡易修繕事業 約1690万円

鎌ケ谷市の放射性物質による環境汚染への具体的対策として、特に、子ども生活圏(学校、公園、幼稚園・保育園、児童施設等)の継続的な測定を進めている。また、子ども生活圏における空間線量が0.23マイクロシーベルト以上の区域を、除染の優先区域として実施する予定。

施設名	放射線量	測定日・方法	優先区域	推進区域
西佐津間公園	0.24~0.28	11/1 測定高1m	○	
市制記念公園	0.20~0.26	11/15 測定高1m	○	
鎌ケ谷市菅野球場	0.24~0.27	11/14 測定高1m	○	
鎌ケ谷市宮陸上競技場	0.23~0.31	11/2 測定高1m	○	
佐津間多目的グラウンド	0.25~0.28	11/14 測定高1m	○	
新鎌ふれあい公園	0.22~0.26	11/1 測定高0.5m		○
くぬぎ山公園	0.16~0.27	11/4 測定高0.5m		○
貝殻山公園	0.16~0.24	11/15 測定高0.5m		○

単位 マイクロシーベルト(最低値と最高値)

松沢の視点

鎌ケ谷市は国から除染対策費用の財政支援が受けられる「汚染状況重点調査地域」に指定され、放射線対策にかかった費用を国・東電に請求していく予定。しかし、除染作業は8県102市町村と広範囲であり、除染作業を実施していくに伴い、除染費用は想定を超える天文学的な数字になる可能性もある。最終的に東電や国がどこまで負担できるのか。また、除染で出た土や廃棄物をどこへ運び、保管するのか日本全体で考えていく必要がある。

■中心市街地を考える

平成21年3月に「ザ・プライス鎌ケ谷店」がリニューアルオープンしたが、あれから3年経った平成24年、閉店を迎えようとしている。

閉店理由として、築年数が35年となり、老朽化が進んでいることや東日本大震災の影響が述べられている。閉店時期は平成24年3月か4月。今後の計画として、スーパーマーケットを中心とした商業施設での運営を検討。しかし、計画が確定となっていないため開店時期についても未定。

土地は鎌ケ谷市都市公社で所有しており、株式会社モール・エスシー開発に平成48年まで地上権を設定し、賃貸収入年間約2400万円を得ている。



松沢の主張

大型店に対する規制緩和後、さらなる大型化した店舗の出店がみられる。域内の大型店同士の競争だけでなく、より広域化の中で消費を奪い合っており、不採算であれば大型店といえども閉店・撤退する状況である。大型店の閉店・撤退は出店関係者の雇用はもとより街の賑わいや商店街の活性、防犯面に大きな影響を及ぼすことが想定される。中心市街地のまちづくりに対して大型店の役割は非常に大きい。だからこそ、大型店の出店・閉店・撤退に際し、鎌ケ谷市独自の地域貢献やガイドラインの設定を求めている。



松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ケ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ケ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成9年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人設立 代表取締役
- 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選

私、松沢たけひとは36歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様に信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。